

令和5年度神奈川県立小田原支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度神奈川県立小田原支援学校第3回学校運営協議会	
開催日時	令和5年11月14日(火) 10:00~12:00	
開催場所	神奈川県立小田原支援学校 応接室	
出席者	委員8名(欠席1) 事務局9名	
次回開催予定日	令和5年2月26日(月) 10:00~12:00	
問合せ先	小田原支援学校湯河原校舎 副校長 鈴木 電話 0465-60-1800(直通) FAX 0465-60-1805 本校(小田原校舎) 電話 0465-37-2758(直通) FAX 0465-37-5356	
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由
審議(会議)経過	<p>会場参加及びZOOMによるオンライン参加のハイブリット開催 出席委員 会場参加:4名、オンライン参加:3名 (欠席1名)</p> <p>1 会長あいさつ ・急に寒くなり、富士山がきれい。活発な意見を出していただきたいと思います。</p> <p>2 校長あいさつ ・今週、学習発表会がある、文化祭と違って学部ごとに行っている。 ・入学者選抜について募集人数等、来年度の小学部の入学予定者数等を説明。 ・学校のミッション、次の4年間(R6~9年)が示された。 今後の目標を立てていくに当たってもご意見いただきたい。</p> <p>●学校評価部会</p> <p>1 中間評価について ・副校長より、資料に基づいてポイントを説明。保護者アンケートの集計結果についても説明。 ・医療的ケアのある児童生徒の登校支援について、スクールバスに看護師は同乗しているのか? ⇒スクールバス1コースに1名、4名の看護師でやりくりしている。福祉車両は、事業所等の責任のもと運行されており、学校看護師は乗っていない。</p>	

・ICTの整備について、大学でもGoogleclassroomの活用、小学校でも動画教材の活用等が進んでいる。一人一台端末の導入に伴い、活用予定のシステムはあるのか？スイッチ教材とパソコンは取り組みやすい。スイッチ等も使えると学習に取り組みやすくなるのではないか。

⇒高等部はクロームブック、小中学部はiPad。検討中。

・地域の小学校での人的交流について具体的に教えてほしい。

⇒R5 足柄小学校に1週間に1回本校職員が訪問している。

校内ではプロジェクトチームで動いている。

R6 2名、本校に籍を置きながら足柄小学校で勤務する。

・小田原市では学校の統廃合も検討されているが、学校がなくなるとコミュニティも減ってくる。インクルーシブの取り組みが始まって、特別な支援の必要な子どもたちが地域に多く入ってくる。できることは地域でやるということはよいと思うが、難しさもある。

・先日防災訓練を参観したが、車いすを4人で運んだりするところを地域の人も見の方が良いと思っている。特別支援学校の内情はほとんどわからない。各地区、見学や防災訓練の見学をしてほしい。

・コロナ前は文化祭もあつたりしてもっとにぎやかだった。開かれた学校ということで、もっと地域の人たちに来てほしい。地域も少しずつ元のように動きだしたので、少しずつ入れるとよい。

2 学校の状況について

スライド資料を基に、行事等について説明。

各学部

小A：6年校外学習 生命の星・地球博物館

小B：5年宿泊学習 湯河原校舎にて

中A：修学旅行 名古屋方面

中B：修学旅行 横浜方面

高A：1年 学年集会

高A：2年 宿泊学習 足柄ふれあいの村 小田原校舎、湯河原校舎合同

高B：校外学習 鈴廣かまぼこ、小田原コロナワールド

大井分教室：大井高校学校祭参加、作業学習 稲刈り

湯河原校舎：校外学習 熱海トリックアート迷宮館、

地域共同学習 ゆがわらハロウィン

部活動 特体連 サッカー大会優勝、女子バスケットボール大会優勝、テニス大会参加

神奈川フィルハーモニーコンサート

作品展示 高等部作業班 小田原合同庁舎

「学校へ行こう」週間

3 意見交換

- ・学校へ行こうで湯河原校舎に行った。設備が整って素晴らしかった。部活が無いということで検討していくということだが、あの敷地では難しいのでは。

⇒町民体育館を週に2~3回予約して体育で使用している。かなり広いのでしっかり運動はできている。

- ・台本のない避難訓練を検討しているようだが、施設でやったところ職員は想定通りに動けなかった。ぜひ報告を聞かせてほしい。

- ・学校へ行こうに久しぶりに参加した。授業参観と違い、新鮮だった。他学部も見られたのが良かった。湯河原の宿泊はどのようにして行ったのか。

⇒前庭の遊具がおけなかった代わりに、室内で使用できるマットや遊具を購入した。そのマットを利用し、その上に貸布団を敷いた。

●部会会議（各部会）（別紙記録参照）

●学校運営協議会

1 部会報告

切れ目ない支援部会：支援連携部長より報告（別紙記録参照）

防災部会：管理部長より報告（別紙記録参照）

2 校長より

これから4年間の目標を立てていく。

卒業式 来賓として来ていただきたい。ご都合よろしければお願いします。

3 会長より

今日も新たな発見があった。学校を地域、社会に開いていきたい。まずは知っていただく。機会を増やすように。元に戻していけたら。

◎第4回学校運営協議会は 令和6年2月26日（月）

【切れ目ない支援部会】

参加者 3名、欠席者 1名 事務局 2名

- ・切れ目ないのが大切、以前は訓練的な支援が多かったが、今は専門職も入れて発達段階にあわせての支援となっている。引継ぎが大切。
- ・集団行動のとれる子の引継ぎは問題ないことが多いが、自閉傾向が強く知的障害があまりない場合は、本人の努力や家庭の影響と取られることが多い。特別支援学校に入ることが難しくなってきた、前は支援学校に行くような子も地域で学んでいる。その中で、支援についても引き継いだのに引き継がれていないことが多く、保育所等訪問で専門職と一緒に訪問し伝えたりしている。学校への訪問依頼が多くなっている。
⇒特別支援学校内でも引継ぎ時に支援内容についても引き継げるようなシステムについて検討している。実態と支援結果は注目されるが、支援内容を引き継ぐことが大切だと思っている。
- ・専門職（OT）の視点から、縦の連携には余暇支援が大切。余暇支援を充実させることが ASD の支援としてよいという研究結果も出ている。学校以外でも熱中できることを見つけていけるよう支援していく。
- ・引継ぎ資料にできるだけ幼いころからの情報があったらよい。重度の方が多い事業所なので、余暇支援に重きを置いている。情報が少しでもあるとサービスの幅が広がる。

【防災部会】

参加者 3名、欠席者なし 事務局 3名

○小田原校舎

- ① 避難訓練実施報告、反省点等・・・別紙参照
- ② 非常食喫食訓練について・・・別紙参照
- ③ 備品について・・・今回の避難訓練で2台のトランシーバーが故障していることがわかった。
- ④ 地域との連携

○湯河原校舎

- ・小田原校舎と同日に避難訓練を実施した。湯河原校舎には教育支援教室がある。初めは訓練に参加するのは難しかったが、段々と参加できるようになった。今は全員参加できている。
- ・10分程度の停電があった（大雨の時）。その際に非常用の電灯が作動した。（2階は太陽光発電だが、1階は軽油を使う発電機のため、煙臭かった。人工呼吸器の生徒も安心していられた。湯河原町と福祉避難所として連携している。

○情報交換・意見交換

- ・避難訓練に参加して、実際見てみると驚くことが多く、他の人にも見てもらいたいと思った。
近くに支援学校があるのだから、お互いに活用できるとよい。
- ・地区では要支援者のサポート者を決めている所だが、家族から個人情報の件でストップがかかってしまう。（実際の所、個人情報には民生委員と自治会長しかわからない）
- ・富水の自治会は16ある。小田原市の防災訓練は1回しかないが、防災教室というのを開いている。それぞれの地区の状況に特化した訓練である。そこで、非常食を用意して、喫食している。非常食も1度は食べてみるといろいろわかることがある。
- ・地域の人を呼んでお茶会を開き、そこで、簡単な非常食を用意したことがある。袋にお麩・ココア・砂糖・水を少し入れて振るとおやつができる。
⇒学校の調理実習でも、非常食という学習内容でできるかもしれない。

	<ul style="list-style-type: none">・非常食もいろいろ良くなっていて、いろいろな人の知恵や情報を収集すると良い。・引渡し訓練は、今年は2部制ではなく、一斉に行えたので待ち時間が短くスムーズだった。・保護者から引渡し訓練の時、車で来校したいという意見が多くあることについて 人によっては、車が使えないのは非常に厳しい。ある保護者は小田原までは何とか電車に乗り、そこからデイサービスに迎えにきてもらった、という例も聞いている。うちの子は楽しく電車で帰れてほっとした。・9月の暑い時期に実施することについて 引渡しは、いつも暑いイメージ。他の季節は、行事等で忙しいのではないか、仕方がない。・想定されることは全てやっておくと良い。そこで初めてわかることがいろいろあるはず。・トランシーバーが聞こえづらい時は、他の代替品はないか？ インターホン、携帯を常備しておくなど。 ⇒学校はコンクリートに囲まれているためか、電波状況が悪い
--	---